

2023年2月7日

各 位

会 社 名 中小企業ホールディングス(株)
 代表者名 代表取締役社長 岡 本 武 之
 (コード番号 1757 東証スタンダード市場)
 問合せ先 管理本部長 井 上 博 文
 (フリーコール：0120-998-050)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月7日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年5月16日に開示した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月1日)の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経営利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A) (2022年5月16日公表)	百万円 6,000	百万円 200	百万円 200	百万円 200	円 銭 0.77
今回修正予想(B)	4,167	272	283	248	0.96
増減額(B-A)	△1,833	72	83	48	—
増減率	△30.6%	36.0%	41.5%	24.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	2,848	△374	△842	△914	△3.64

2. 修正の理由

2021年12月30日に発行致しました当社第25回新株予約権が2022年12月29日に行使期間の満了を迎え、発行総数360,500個(行使価格48円、1個当たり100株)に対し行使個数15,000個(行使割合4.2%)となり、その調達金額72,720千円(行使個数に相当する予約権料を含む。)と、同時に発行した第三者割当による新株式346,080千円を合算した418,800千円の調達となり、新株予約権のうち96.2%に相当する360,500個(1,730,400千円)が未行使となりました。

このような調達状況の下、調達した資金を主力事業である建設事業を中心に充当しましたが、事業資金に限りがあり、2022年5月16日に開示した業績予想において計画していた売上高を達成することが困難となり売上高が減少することとなりました。また、他の各事業においても販売促進を目指した積極的な広告展開を進める資金が確保できなかったため業績予想において計画していた売上高を達成することが困難となり売上高が減少することとなりました。以上の理由をも

って、このたび連結業績予想の売上高の修正を行うことといたしました。

営業利益及び経常利益については、第 25 回新株予約権の行使が進まなかったことにより、積極的な広告宣伝を行うことが出来なかったことで広告宣伝費の支出が計画より大幅に減少し、結果として 2022 年 5 月 16 日に開示した業績予想に対して営業利益及び経常利益が上回ったことによる修正となっております。

配当予想については、引続き無配の予定です。

なお、上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

以上